

# 上宮津公民館だより

第59号  
平成25年  
3月

## 風を読む

公民館長 智原芳明

春の訪れを皆様、お元気にお迎えるの事と思います。おかげ様をもちまして今年度の全事業を予定通り実施いたすことが出来ました。地域の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

とりわけ今年で創設十周年目を迎えられました上宮津21夢会議様には、公民館行事で大変ご尽力頂いているところです。

辛皮で開催のホタルとカジカ夢酔い祭りをはじめ、KTR法面除草、歴史街道の整備など数多くの行事を年間通して企画実践してこられました。地域に根付き今では無くてはならない年間行事までになっていきます。

また地域会議様におかれましては、地域振興として特産物の生産を目指して竹ノ本地区にわさびの試験田を開発中です。さらには環境保護

を訴え山間部や河川へ看板の設置、安心安全を通して福祉と文化の向上を目指して市民生委員様ともにご尽力頂いています

囲碁教室、コーラス、太極拳、バトミントンにつきましても、自主的に定期的開催をして頂いています。

公民館としましては、各分野の皆様への活動を通じ、より一層交流が図れる場になることを願っています。

しかし、全てが順風満帆というわけではありません。少子高齢化が上宮津にも重くのしかかっています。

現実には従来の繰り返し、すなわち現状維持が精一杯の状況になっていきます。このことは、公民館に限らずどの団体にも共通する課題ではないでしょうか。

歌集「こぶしの花」を永年にわたって発行し続けて頂きました短歌教室のサークルと、敬老会には欠かせない存在として活躍いただきました踊りの会とが共に継続が困難となり閉会を余儀なくされました。

また上宮津保育所の園児、上宮津小学校の児童ともに一向の増加傾向が見えない中で、存続か否かの論議が進められているところですが、

このような状況の中で子供たちを対象にした公民館行事を組んでいます。子供の数よりも役員が多いのが現状となっています。何とかしなくてはならないというのは共通の思いでしょうが、ここまで子どもの数が少なくなつた今となって、容易に解決をする特効薬は見つかりません。

現時点で唯一可能な選択肢は、インター・Uターンとして上宮津に定住をしていただき、地域の若返りをすることに本腰を入れることに尽きると考えます。

そのためには迎える側の心や隣組の制度慣習などを見直していく事も大切なこととなります。

「上宮津は、元気でいいですね」と他の所でよく言われます。同じところに長く住んでいると何事も当たり前となり、他から見ると魅力に満ちたことを、見落としていくことがあるのではないのでしょうか。

そんな素晴らしい事を、地域外の人や、専門家の口を通して提言をいただくのも大切なことと考えます。また、この私もその一人になりました

が、いよいよ仕事を離れて自由になる団塊の世代が増えてきます。

この年代の人達は戦後の復興貧困時代から高度成長経済を経て今日まで様々に工夫し克服して器用に生き抜いてきた経験者であります。退職を機にこのノウハウを地域で生かしてもらってはいかがでしょうか。少しずつ何かを出し合ってもらうだけでも多くの人が集まれば大きな力になります。

これからがやりたい事が自由に出来る時です。積極的な参加で故郷を変えてくださる事を期待します。



## 心をあわせて築こう

## 明日の上宮津

自治連会長 細見 節夫

宮津に帰郷して早くも十年がたちました。定年後は田舎でゆつたりんびりと思っていました。が現実には甘くなかったと振り返っています。自分の反省も含めて都会に住む人々は自分の生まれ故郷の農村地域が少子高齢化と地方経済の疲弊化でこれほどまでに厳しい状況にあるとは考えていないでしょう。

この十年間公民館と自治会の仕事を通じていろいろな経験をさせていただきました。多くの地域の人々とお付き合いさせていただいて地域社会と住民との関係の重要性を改めて考えさせられ、住民自治活動の大切さについて思い知らされているところです。



今世の中は大きく変わってこれまでの考え方や経験則だけでは乗り切れない課題が目の前に山積しています。これは田舎だけではなく都会でも同じだと思いますが、人口と若者が少なくなつて過疎化し高齢者中心となる田舎にあつては今まで経験したことのない困難な問題が現実化します。少子高齢化の進行により地域社会の原動力となる若い世代がいなくなることで自治会

などのいろいろな地域を支える組織の役員のみならず、世代交代が難しくなり、集落機能の維持が困難になりつつあります。また、農林業も高齢化で後継者がいなくなつて先祖から受け継いだ大切な田畑が人の手から離れて耕作放棄地になつていく悲しい現象は一層激しさを増しています。私たちはこうした厳しい世の中の動きにどのように対処していけばよいのか途方に暮れ、昔の元気な姿はもう戻つてこないのかなど将来に対して悲観的な考えに陥つています。

難しい流行語にニューノーマルという言葉があります。これは経済の先行きに対するものの考え方で使われますが、これまでの常識とは

異なる新しい常識や流儀で物事をとらえて対処していくという考え方で

私たちは過去の成長体験や人口は増え続け、経済が常に右上がりで所得は年々向上し、欲しいものはお金さえあれば何でもいつでも手に入る、また人の手を借りずに自分は生きられるといったこれまでの常識にとらわれていません。だからこそ現在の閉塞感と将来に対する自信が持てないのだと考えています。今まさに新しい常識や行動規範が社会にも人々の暮らし方生き方に求められているのだと思います。東日本大震災でおおきくとりあげられた絆もそのことのあかしとみえています。

上宮津地区も時代の変化に対応して人も地域もいつまでも輝いている状態にしていくために十年前から夢会議として三年前から地域会議で地域おこしの活動に真剣に取り組んできました。その結果地域おこしの住民意識は向上し心を合わせていろいろな地域活性化の取り組みを推進していける土壌は出来てきたと考えています。

そして今年はこの十年の上宮津地区の行動指針である上宮津二〇二二年ビジョンのスタートの年でもあります。

私たちはニューノーマルの新しい常識を作りながら希望の芽出しに取り組んでいきたいと思っています。

昔の農村集落の姿は、田植えや屋根ふき田んぼの水守などみんなが協働し、困った人があればみんなの手で助け、助け合われる、そして権利と義務、個人と全体の調和がとれた状態がありました。

私たちは、これからの世の中の変化の中で求めていくべき姿を歴史に学んでいくべきと考えています。

この観点から上宮津地域においても地区全体で人々の触れ合いやこころのやすらぎを高めようと女性や独居および高齢者世帯の人々の憩いのサロンの場を作る動きが始まっています。また今年一月からは地域おこしに挑戦する若い人が上宮津に移り住んでいただき、大いに活躍してくれるものと期待しています。一方上宮津の豊かな上質の水を飲料水とする産業おこしも始まるうとしています。

このように新しい地域の息吹の一方で、上宮津小学校が児童数の減少により全校生徒数が二十四名で今年度から複式学級が二クラスとなり、今後の児童数の先行き展望が開けないことと、児童の教育環境を心配される保護者の意向調査を踏まえ、私たちは三月五日上宮津地区の関係組織代表者からなる「教育・保育施設再編問題を考える会」を開き、今後の上宮津小学校の在り方について検討した結果、最終的に上宮津小学校を近い将来宮津小学校へ統合することは時代の流れとしてやむを得ないものと苦渋の決断をしたところで

す。

地域おこしの一方でこれと相反する小学校の閉鎖を決断しなければならぬことも新しい環境変化の中で避けられない選択でした。

このように私たちが地域社会を前進させるためには若しくても乗り越えていかなければならない課題はこれからもたくさん出てくるものと覚悟しなければなりません。

おわりに地域の一人一人の皆様にお願ひしたいことは、少しでも地域社会のために知恵と力を貸してほしいことです。元気でいるときは、みんなのため社会のために役立つことをしてほしい、自分ができなくなつたときには他

人の世話を受ける相互扶助の関係を高めてほしい。コミュニティを高め、誰もが住んでよかった、住みたい上宮津にするためにお互いに頑張りましょう。

### 城山に

### 山びこのする

### 春多の駅

粉川 宗久



### ウォーキングとの出会い

鳥が尾 田中俊次

私がウォーキングを始めたのは、十年前で、定年退職後、何か体を動かすことは無いかと考えていたところ、上宮津の農道をウォーキングしている人達の姿を見掛けたことがきっかけです。

当初は、ウォーキングしている皆さんは黙々と歩き続けていて、取り付くしきも有りませんでした、けれどもそのうちに出会った人にあいさつの声をかけ、体調を聞いたたり、話ができるようになりまし

一方、春には里山近くでウグイスの鳴き声、初夏にはセミの鳴き声が耳に入りました。道沿いには田んぼや畑が広がっていて、四季の移り変わりを感じながら、ウォーキングは楽しいものだと実感しています。

私も始めは、一日五キロを一時間のペースで歩いていましたが、負荷が掛かっていけないためか、体にあまり変化が出て来なかつたです。

その後、一日七キロを一時間二十分くらいのペースで歩くことを目標に立て、歩いたところ、当時五十七キロだった体重は今、五二キロと快調です。また、体脂肪も減少しています。

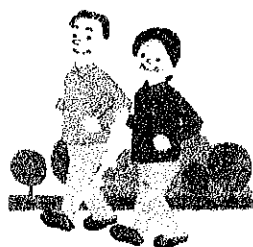
これまで続けてきたウォーキングは脂肪の燃焼や心肺機能の強化などに有効である事がわかりました。

ちようどそのころ(平成二十三年秋)健康づくりの一環としてウォーキングの推進を図るため、長野県の松本大学から講師を招いて講習会が開催され、私も受講する機会を得ました。その内容は、「ウォーキングの効果をより高めるためには歩く速度を意識してエネルギーの消費を多くすることが大切である」ことを説かれました。

昨年より市の指導、支援を受けて「上宮津健康広場」を立ち上げてウォーキ

ング等の事業に取り組んでいます。このようなもつとで、地域のリーダーさんと地域の皆さんとが一緒になった健康づくり運動を推進して参りたいと思います。

ウォーキングの中に確かな効果が期待される「インターバル速歩」の普及を図るために、これからも微力ながら、お手伝いしたいと考えています。「上宮津健康広場」の健康づくり運動のますますの発展を祈つて!



### “かみやづ文化祭賛歌”

秋の農業文化祭の様子を公民館活動推進委員である森山俊雄様に各展示会場の様子を文と詩で綴っていただきました。

素敵な文章を沢山いただきましたが、紙面の都合上編集させて頂いた上でご紹介します。

## 上宮津文化祭情景

森山俊雄

### 1、囲碁の部屋

何年か前は壮年棋士の皆さんで賑わっていた部屋だったが、近年少し寂しい感じがあった。でも昨年ぐらいいからは大人に混じって「少年棋士」たちも集うようになってきて大変うれしい。今年も大入りで、部屋が狭く感じるくらいであった。

### 子ら集う 五目並べや

またオセロ

### 囲碁するおぢい

嬉々としてあり

### 2、工作教室

「ドングリの村を作ろう」という表題が掲げられた工作教室のコーナーには、ドングリとかビーズとかラメなど、材料になりそうな子供らのすきそうな小物がたくさん用意されている。それに、輪切りにした木やいろいろな形の木ぎれなども、すきな物を使ってすきな物を作ればよい、ということだ。いろんな材料が目の前にあるということが作る意欲を沸き立たせるのだろう。もちろんヒントになるようにいくつか作品も並べてある。傍らに白石さんが座って居て、



「おう、なんでもいいぞ、すきな物をつくれよ」と子らに声をかけている。電動工具も教えながら使わせてやっている。

### ドングリの村を作ろう工作の

おじさん慕い 子らの寄り来る

### 3、保育所展示

とても楽しい展示だった。忍者屋敷を作り、それを「舞台」に一人一人の作品が展示してある。いや躍動している。いろいろな型をして、術をして。

### 忍者たち 潜みて跳ねて伏せ走り

園児と先生 楽しき工作

### 4、陶芸教室展示

今年驚いたのは、「どべ淵焼」。今年驚いたのは、「どべ淵焼」。夏、子供らに大手川で川遊び体験をさせるべく、事前に安全点検のため大人数人で川を歩いた。あるところで川底に青っぽい土の部分があり、足を踏み入れると「ぬたつ」とした感触だった。白石さんが「これは焼けるかもしれん」とすくい取って持ち帰った土だ。ここの企画は『花と実』だ。昔はこの花（あるいは実、枝など）でどう遊んだとか楽しい話をしてきた。

七月の 大手川歩き 見つける  
どべ淵土は 光る器に

### 5、21夢会議杉山部会展示

杉山に咲く花その実

クロースアップの 写真思つく

### 6、小学校展示

絵画や工作、自由研究や共同研究の壁新聞など、こどもらの作品を見ると、「ああ、去年あんな絵を描いてた子が、今年はこの絵を描くようになったんだな」と成長を感じる。大手川を調べた壁新聞はなかなかの力作で、その中に、田んぼの洪水調整機能を書いた表紙がありとても感心した。

### 壁新聞 研究発表名詞あり

水田 川の流れを助け

### 7、生け花教室展示

小学生から壮年の華道家の皆さんの作品が、やがて白布のテーブルにならび、まるで花色・緑色の飾りローソクに一齐に火がついて輝いているようだ。

それぞれ、花の色や配置、枝の造形など、なるほどと感心する。

### 水盤の 古木に緑いや映えて

山紫水明 かみやづの里

### 8、作品展

手芸品、工芸品、写真、絵、短歌・・・。こんなにも芸術家がたたくさん上宮津にいるのかと毎年感心する。きつとみんな忙しい中で創作にちがいない。作品のうらには作者の生活が裏打ちされているのだ。

それぞれの 一年「こ」に輝くや  
額に納まり 台にすえられ

足が不自由で、それでもみんなの作品を見たくて、と来てくれる人もいた。

### 杖つきて 展示鑑賞する人の

言葉羅やが 白髪美し

### 9、大正ロマンカフェ

(別名メイドカフェ)

今年の喫茶コーナーは本格的なクテルもあり、並べられたテーブルでゆっくりくつろぎ談笑する風景がとてよかった。

### 村娘 扮するメイドの華やかに

一一一文化の祭典

本場に今年の文化祭はよかったです。

展示に出品する、それを鑑賞する、そのことを通じて、人々が交流できるという事がすごく値打ちだなぁとしみじみ思いました。



# はじめまして

今淵 崇

上宮津地区へ来た理由は、①職場が宮津市内であること、②自然の中でゆったりと過ごしたい点です。

また、京都府内には良い場所がたくさんあることを知人へ伝えていきたいというところもあります。

丹後地域に住み、京都はお寺と神社、古都の場所だけでなく、海・山・おいしい食べ物がたくさんある事に驚き、一人でも多くの人が京都北部に目を向けてもらえたらうれしいと思っています。

上宮津へ来る前は、京丹後市の臨時職員として二年弱碓高原の近くの集落で集落支援を行い夏場は農業のお手伝いや都市部への農産品の販売などを行い、冬場は集落と集落へ通じる市道除雪を行っていました。

農産品では、お米を主として都会の人に京都の丹後米の良さを知ってもらうために、東京や京都市内へ販売をしました。そして購入された方々のほとんどが丹後のお米の良さを感じてもらえ、続けてお米を買っていただけました。

今はまだ引越して間もなく、わからない状況です。仕事に関しても同様です。

ゆつくりと地域のことを理解して、地域の一員になっていけるよう頑張っていきたいと思えます。今後ともよろしくお願い致します。



## プロフィール

東京都 荒川出身

東京理科大学卒業後、アジア一六か国を旅し、青年海外協力隊の村落開発普及委員として、アフリカ・マラウイで地域に貢献、帰国後も青年海外協力隊訓練所の訓練スタッフなどを経て、二〇一〇年「地域おこし協力隊」として丹後町上山地区で集落活性化活動を行う。二〇一二年二月 転居

## 上宮津が大好きです。

アリ・チャップマン

Hello! アリ・チャップマンです。ニュージーランドから来た英語の先生(AET)です。宮津市の八つの小学校で英語を教えています。一か月に一、二回上宮津に行きます。松縄手のバス停から二〇分歩いて学校に行きます。学校まで一番長く歩かなければならないけど、それも楽しみです。つまり、ニュージーランドの広い田舎道と違って、上宮津の細いうねうね道がおもしろいです。

道を通りながら、朝仕事を始めた方々とあいさつを交わしたり、竹林の中を探検したり、霧に包まれた山を眺めたりします。上宮津には何か神秘的な感じがあります。それで上宮津が大好きです。他の学校に行く場合はバスや列車に乗るので、ただバスの窓からみえるだけです。

昨年の暮れに上宮津公民館でほかのAETと一緒に餅つきとしめ縄を作るイベントに誘ってもらいました。楽しかったし、いい思い出になりました。

でも、上宮津の一番いい思い出は、宮津小学校の子どもたちと先生たちなんです。

上小は小さい学校なので、みんなとすぐ仲良くなれ、教える楽しみも増えました。今年卒業する六年生がいなくなるのは寂しいですが、またいつか出会えるとおもっています。

私はあと一年半宮津にいるつもりです。その間に、また上宮津の人々と一緒に交流できることを楽しみにしています。

新学期もよろしくお願いします。



### 粋な計らい

二月三日の某朝刊で紹介されて、すでにご存じのかたもあろうかと思いますが、地元の住人にとつてはとても嬉しいことがあります。

現在上宮津小学校へ小田地区の児童は、KTRと市営バスで通学しています。辛皮駅から小学六年生の妹さんと、中学に通うお兄さんがともにKTRを利用されています。

四月にはめでたく妹さんも中学生となられ、兄妹揃つての通学となります。

ところが今のダイヤでは授業を終え、クラブ活動をしていると帰宅時間に丁度いい列車がありません。次の普通列車にのるには夜遅くまで長く待つていなくてはならないので、困っておられました。

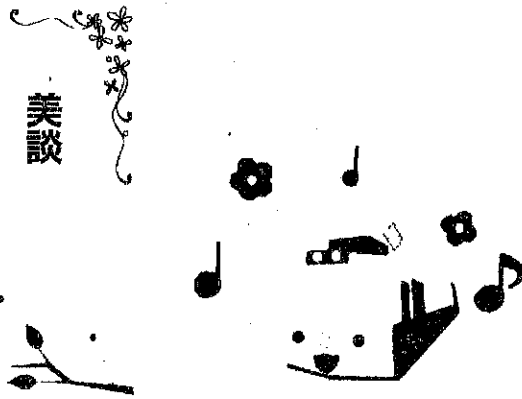
学校からの要請を受け、宮津市にも動いて頂いた結果、三月のKTRダイヤ改正に伴って六時過ぎに宮津駅を発車する快速列車が辛皮駅に停車することが決まりました。

家族をはじめ二人の兄妹の喜びが伝わってきます。

KTRの粋な計らいは、過疎をかかえる地域にとつてはとても明るいニュースとして受け止められています。

この美談に「テレビや新聞社が次々に取材に來られてたいへんですわあ」との事でした。

夏には、兄妹二人と一緒に他に大勢の「ホテルとカジカ夢酔い祭り」のお客さまが列車で來られる光景を想像し、今から楽しみにしています。



### 美談

常々公民館トイレは清潔にして、気持ちよく使用していただけるよう心掛けています。

特に各種団体の使用が入っている時は、利用が多いので前後の清掃には気を使っているとこです。



美しく保ち続けるために、美化標語を貼り付けて協力を呼びかけてはいますが思うような効果が出ていないのが現状で困難を極めています。

ところが、新春、囲碁大会のことでした。片づけを済ましてトイレ掃除に掛かるうとしたとき目を疑いました。なんとキレイに足元の拭き掃除がしてあったのです。

まさかと思ひ清掃用具入れを覗くと予想通り濡れ雑巾が干してありました。ナイロン手袋を用意していませんので、素手で拭き掃除をしていただいたものと思います。どなたが掃除してくださいましたのか分かりません。きっとトイレの神様のみご存知だと思いますが本当にありがとうございます。

## 「今福の滝」が 府景観資産に!

この程、京都府の景観審議会で「今福の滝」が、「宮津市今福の滝―蛇網の里が誇る七段の名瀑」として登録されることに決まりました。

美山のかやぶき屋根の里や丹後半島の屏風岩などの観光名所と肩を並べるスポットに指定されたという明るいニュースです。

地元で開催されています「今福の滝祭り」や「蛇網」など地域文化の取り組みと合わせ、滝のスケールの大きさや景観の素晴らしさが認められたものです。

落差七十八メートル、総延長二百二十三メートル。壮大な七つの滝から成っています。登録決定を祝うかのように道中が舗装されました。この機会に一度、皆様も「今福の滝」に足を運んで名瀑を鑑賞しませんか。





クリスマス用  
タペストリー

11月10日・11日

農業文化祭

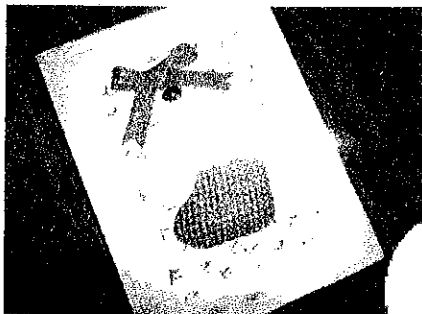


ビーチボール  
バレー

狙って…  
グランドゴルフ

10月23日

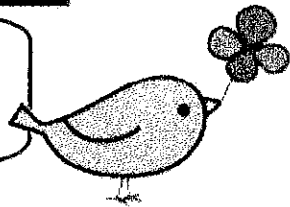
第二回手作り1DAYレッスン



### 後期事業報告

その1

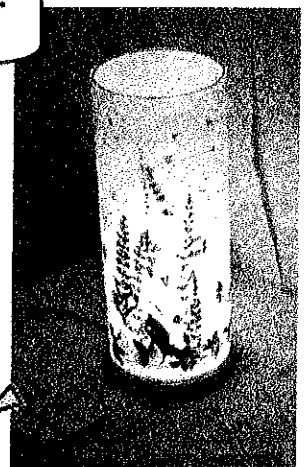
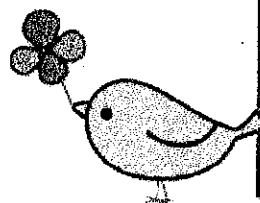
大正浪漫喫茶  
が大人気



健康づくり  
正しい姿勢で…

力作がずらり…

12月9日  
師走ウォーク





12月8日  
しめ縄講習会

今年度は  
日本の文化を学びたいと外国の方も参加



## 後期事業報告

その2



上宮津クイズ大会

1月12日  
新春お楽しみ会

みんなで  
お餅つきをして、  
お餅を丸めます



2月11日  
新春囲碁大会



1月25日  
健康づくり教室

日頃の腕試し



3月10日  
男の料理教室

塩分控えて  
健康食!



皆様のご協力・ご参加により  
さまざまな行事が無事終える  
ことができました。  
ありがとうございました。